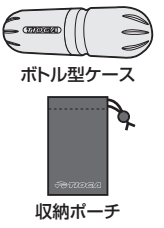
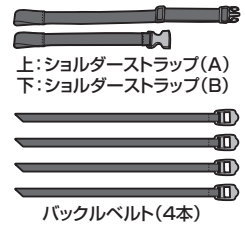
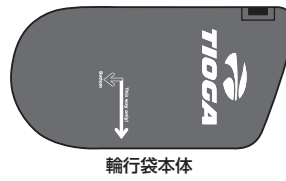


TIOGA COCOON

BICYCLE CARRYING BAG

取扱説明書

商品内容



輪行時の注意点

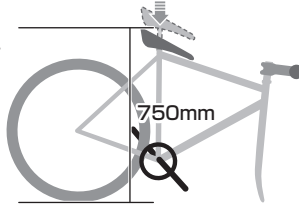
コケーンに自転車全体を収納する際は、前輪を取り外し、サドルの位置を下げた状態で、地面からサドルの天井までの高さ(下図参照)を目安に、下記のいずれかの方法で収納してください。
※取り付けているパーツによっては、高さが750mm以内であってもサドルを取り外してから収納しなければならない場合があります。
※交通各社の規定が「高さ750mm以内に収める」という意味ではありません。

高さが750mm以内に収まる場合

サドルを取り外さず、自転車を輪行袋に収納することができます。

高さが750mmを超える場合

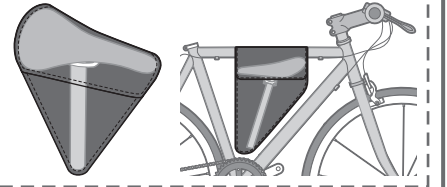
サドルを取り外し、自転車を輪行袋に収納してください。
※取り外したサドルを保護せずに輪行袋に収納した場合、フレームなどを傷付ける可能性がありますので、ご注意ください。



サドルケースを使用した収納

TIOGA サドルケース-コケーン用-(YBA01800)

別売のサドルケースを使用し、取り外したサドルを図のように保護することができます。
また、サドルケースを輪行袋に収納する際は、図のようにトップチューブにサドルケースを取り付けることができます。

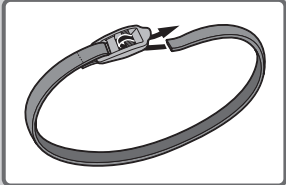


輪行をおこなう際は、交通各社(鉄道、航空機など)の規定をお確かめのうえ、自転車の大きさを規定内に収めた状態で収納し、運用方法を守って安全な輪行を心がけてください。

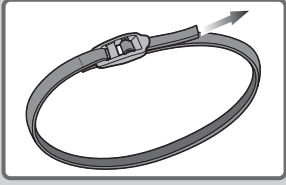
固定する

バックルベルトの取付

ベルトの先端をバックルに通します。



通したベルトの先端を矢印の方向に引っ張り、ループを締めます。



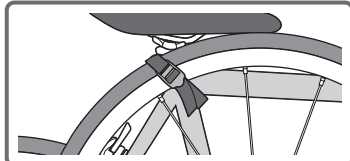
① 前輪 + 右クランク

前輪を外し、右クランクを下図の位置に合わせて、バックルベルトで固定します。



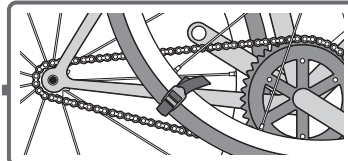
② 前輪 + フレーム or シートポスト

前輪とフレームもしくはシートポストをバックルベルトで固定します。



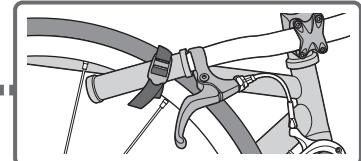
③ 前輪 + チェーンステー

前輪を、チェーンリング側チェーンステーにバックルベルトで固定します。



④ 前輪 + ハンドル + トップチューブ

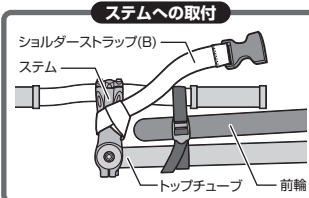
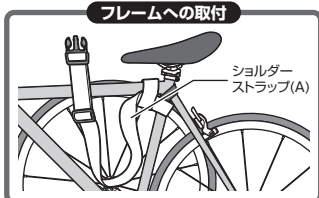
ハンドルを右に90°きり、前輪とハンドルとトップチューブをバックルベルトで固定します。



収納する

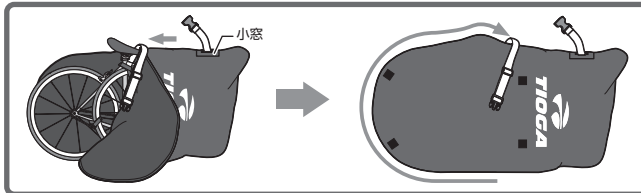
① ショルダーストラップを取付ける。

右図のようにショルダーストラップ(A)をフレームに取付けます。
ショルダーストラップ(B)をステムに取付けます。



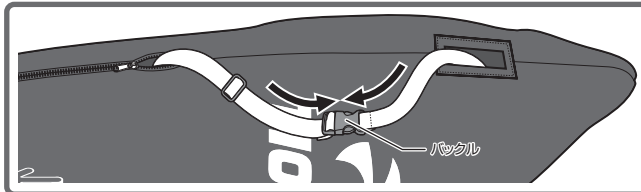
② 自転車を輪行袋に入れる。

ファスナーをいっぱいまで開き、ハンドル側から輪行袋の奥まで入れます。
ショルダーストラップ(B)を輪行袋上部の小窓からバッグ外側に出し、シートポストに向かって両側からファスナーを閉じます。
ファスナーを閉じる際に、ショルダーストラップ(A)も外側に出してください。



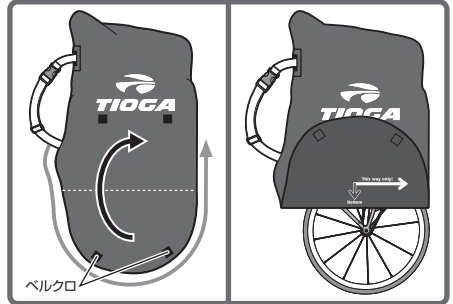
③ バックルを接続する。

ショルダーストラップ(A)とショルダーストラップ(B)のバックルを接続します。



転がす

後輪部分のファスナーを開き、輪行袋を下図のように外側に折り返して、ベルクロを貼り合わせます。



ハンドルとサドルを手で支えながら前方に転がしてください。
※クランクが固定されているため、後方には転がせません。

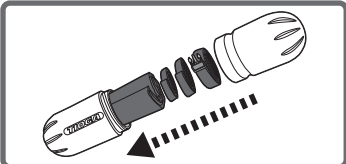


交通各社の禁止区域では、自転車を転がさず、収納した状態で担いで運搬してください。

ボトル型ケース 機能説明

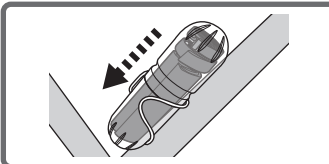
● 豊んでボトル型ケースに収納

豊んだ輪行袋を、付属のボトル型ケースに収納。



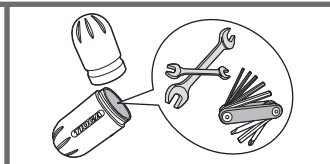
● ボトルケースに装着

ボトル型ケースはボトルケースに装着。



● 工具入れとしても最適

ボトル型ケースは工具入れとしても使用できます。



担ぐ

ショルダーストラップの長さを調節し、肩に掛けて輪行袋を担いでください。

